

# 東電勞働

編輯 佐良士英彦

東京市小石川區上野町二〇

發行所 東電從業員組合

東京市牛久保區八軒三七七

每行發回一月

## 宣言

(草 案)

資本主義高度の發展は資本の集中化を急速に強行し遂に寡頭金融資本の獨裁的地位を樹立せしむる段階に到達した、かくて資本家階級は其政治的權力を恣にするに振ひ労働階級の運動を強壓する反動法令を制定した言論集會出版結社の自由金値下げ労働条件の改悪等々彼等が専制支配を維持せんがため益々狂暴的鋭鋒を向けてゐる。

舞臺を分割支配せんとする帝國主義列強の對立抗争を醸成し支那民族の自主的飛躍運動を抑壓しつゝ今や帝國主義世界戦争の危機は尖鋭化してゐる。

資本主義のかゝる全面的攻勢下にある我が無産階級は必然的に組合組織を速進し更に階級黨の強力なる支持となつて現はれてゐる。而して自發的發生の日常闘争を激烈につゞけつゝあるが戦線は彼の觀念的革命主義者と反動的極右主義者等の排他的行動によつて四分五裂し戦線統一の要求は反動支配の逆潮に押し流され常に戰鬥力を壓縮されてゐる。

阻害し四十億の巨資を擁する電氣産業の激甚なる攻勢を助長せしめる因を成してある、即ち彼等は電氣労働者の社會的使命の重大さを強制しつゝ一階級國家資本トラストの結成に向つて凡ゆる努力を傾倒してゐるかの電氣事業調査會の如きは其具現である、かくて我が電氣労働者はまさに二重三重に搾取せられんとしてゐるのである。

我が組合は創立以來經濟主義を主要任務として闘争をつゞけ組織の擴大に於ても一應の成功を収め今日の發展を見るに至つた、しかし乍ら今やブルジョアの組織的強壓政策に直面してなほ舊來の經濟主義闘争に固定化することは將來の運動を有効に發展せしむることは手難である。

惟ふに資本家階級の支配範圍に於て思想上、政治上、經濟上の奴隸状態より完全に解放を期するには政治闘争と經濟闘争は不可分の必要であると確信する、故に我等は過去の經濟闘争を押し進めて政治、經濟の兩面闘争に展開し階級運動の發展を期するものである。更に我等電氣労働者は公共事業たる特殊の立場にあ

つて日常闘争を成功的勝利に誘導するには從來の一城一廓的城塞の孤守であつてはならない。

我等はかゝる見地より組織の擴大化と陣營の強化を主張するものであるが從來の雜多なる産業労働者を抱擁する組織形態は現實的に最強化の組織でないと思へる、故に我等は共通した不利的条件の下に常に搾取を強制されてゐる公共労働者の結成を段階として戦線統一に邁進せんとするものである。

而して我等は資本主義の現實狀況を考慮し未成熟にして混濁したる日本労働運動を整理統一するため飽く迄でも階級的現實主義指導精神の下に勇敢に闘争を展開し無産階級解放に向つて邁進せんとするものである。

右を宣言す。

昭和四年五月廿五日

## 東電從業員組合四年度大會

### 大會順序

- 一、開會ノ辭
- 二、組合歌合唱
- 三、議長副議長ノ選舉
- 四、各種委員及書記ノ任命
- 五、祝辭祝電ノ披露
- 六、資格審査委員會ノ報告
- 七、本部報告
- 八、會計報告
- 九、會計審査委員會ノ報告
- 議事 政治部報告
- 一〇、綱領宣言規約ノ審議
- 一一、教育運動ニ關スル件
- 一二、公共労働者結成ノ件
- 一三、公務傷病者ノ生活保證ヲ要求ノ件
- 一四、役員ノ選舉
- 一五、決議
- 一六、各支部有志演說
- 一七、閉會ノ辭

### 從業員組合歌

（アール河の曲）

(一) 起て東電の労働者  
今ぞ奮闘す階級の戦線に  
敵軍の戦列に  
民衆みそろへて行進せ

(二) 階級の資本何にもぞ  
赤の産業經濟を  
我が手に握る偉大さに  
眼醒めて起て我が同志

(三) 階級の支配に抗みなる  
我が東電の労働者  
今こそ自由精神を立て、  
光りに向けて進まずい

(四) 戦線一府十二縣  
吾等の團結いさ堅し  
同志よわが女共どもに  
階級の團結切らんと

(五) 電氣は文化の道標  
我が手に握るスイッチは  
世界を照らす電燈を  
世界の光りに照らすべし

(六) 起て勇ましく奮ひ起て  
正義の血潮にひらめける  
わが從業員組合旗  
掲げ守られわが同志